

はじめに

令和5年となりました。「この町に住んで良かった」と言う町づくりを目指し発足した掛田自治協議会も8年目を迎えました。

発足当時から『地域に伝わる歴史的遺産や町外れの小高い丘にひっそりとあった鎮守様、そして建造物などが取り壊されたり、風化してしまう、今だから書き記し、代々伝えていける物がある。』と、役員会や地域づくり部会などで幾度となく話題として上がっていました。

そこで当時の地域づくり部会長岡崎勝弘さんを始め、事務局長渡辺 隆さんが中心となり動き出し、3年前地域づくり部会委員の皆さんの協力のもと、掛田地区を4つのブロックに分け、藪化した山道や坂を分け入り、時には持ち主の許可を頂き、祠(ほこら)の錠を開けて頂いたこともありました。

また、地元郷土史家や関係者の話を拝聴したり、関連書物等の提供を受け、写真に収める事ができました。

調査に当たった私達も、建立当時の方々の熱い思いを強く感じ、益々きちんとした形として次世代へ繋いでいかなければならないと思いました。

そして、ここに3年の月日をかけて「掛田の歴史ガイド」が完成。

『掛田地域の皆様には全戸配布しよう』という運びになりました。

掛田の歴史や言い伝えなど次世代へ継承されますように強く願っております。

なお、名所・旧跡には、私有地もあります。

令和5年4月



私有地につきまは、無断での見学はご遠慮ください。

掛田自治協議会 会長 大友 靖子

掛田名の起源 口碑伝説（郷土史より）

本町の地に馬が無く日所経津主命は馬が欲しいと天白鷲令に命じ陸奥國稻庭山神に多くの馬を畜う。

汝往て乞を得て來いと白鷲命を往て乞うと稻庭山に向かう。稻庭神は白鷲の容貌醜陋なる面みて馬を與えず。

白鷲篠藪の中に隠伏し栗毛馬槽毛馬各一頭を盗み之を駆けて追走す。

ニ馬田を駆けて走る。

以って比地を駆田と命す後懸田と称し後又現今の掛田と言う。

（何れの頃より掛田と称するか知る由なし筆画の省略に従うべし、信達二郡村誌より）

また、福島から相馬、相馬から福島と物資を運ぶ際、丁度真ん中であつたこの地域で馬を掛替えたことから“掛田”となつた等諸説がある。

霊山町の主な出来事

西暦	年号	主な出来事	西暦	年号	主な出来事
1873年	明治6年	・掛田・大石・上小国・下小国・山野川に、それぞれお寺や家を借りて学校が開校される。	1966	41年	・NHKテレビ中継所が大滝山頂に完成。
1882	15年	・掛田小学校、校舎をたてる。	1967	42年	・霊山町役場新庁舎完成。
1885	18年	・山野川小を掛田小へ統合する。	1968	43年	・掛田中・霊山中・石戸中が統合して、霊山中学校となる。
1888	21年	・掛田に巡査駐在所が設置される。	1969	44年	・霊山中学校新校舎完成、スクールバスも巡行を始める。
1898	31年	・掛田村が、掛田町となる。			・霊山町全地区のゴミ収集を始める。
1911	44年	・保原一掛田間に軽便鉄道が延長される。	1970	45年	・山戸田小が掛田小へ統合される。
1912	大正元年	・掛田に電話が開通する。	1971	46年	・福島一掛田間の電車廃止となる、
1915	4年	・掛田一川俣間に軽便鉄道が延長される。			・掛田幼稚園舎完成。
		・飛行機が、初めて伊達郡上空を飛ぶ。	1972	47年	・中川小が掛田小へ統合される。
1921	10年	・霊山電燈KKが送電を開始し、初めて泉原地区に電燈がともる。			・掛田市街地がすべて駐車禁止となる。
1929	昭和4年	・川俣・保原・霊山定期バスが開通する。			・伊達地方消防組合常備消防(東分署)が設置される。
		・このころから、リヤカーが普及し始める。			・霊山子どもの村開園。
1930	5年	・福島一掛田間の軽便鉄道が、電車になる。			・山戸田地区に大型ハウス18棟つくられる。
1934	9年	・掛田小ヘストーブがとりつけられる。	1973	48年	・掛田地区商店街の街灯が、水銀灯にかわる。
		・掛田一川俣間の軽便鉄道が廃止される。			・掛田小学校の新校舎完成。
1937	12年	・このころ動力脱こく機が使われるようになる。			・電話が自動ダイヤルになる。
1947	22年	・掛田中・霊山中・石戸中・小国中学校が、それぞれつくられる。			・国道115号バイパスが完成する。
1948	23年	・保原高校の掛田分校ができる。	1975	50年	・掛田小の体育館が完成。
1950	25年	・掛田中学校新校舎ができる。			・保原高校の掛田分校が廃止される
1955	30年	・掛田町・石戸村・霊山村・小国村村、合併して霊山町となる。			・このころから、川のよごれカリどいという記事が、広報にのるようになる。
1957	32年	・小国中学校が、掛田中学校へ統合される。	1976	51年	・伊達地方衛生処理組合ゴミ焼却場が完成する。
1961年	36年	・県道福島・相馬線の舗装がはじまる。			・掛田小プール完成。
		・掛田駅前から北町岩井商店前までの舗装が完成する。街路灯がつけられる。	1977	52年	・「湧水の里」が完成し開場する。
1962	37年	・掛田幼唯園が、掛田小学校に併設される。			・このころから空缶の問題が、広報にのるようになる。
		・農協有線放送が始まる。	1978	53年	・タナシン電機が下小国につくられることになる。
		・福島一相馬線が、2級国道になる。			・中央公民館が完成する。
1963	38年	・掛田地区簡易水道ができる。	1979	54年	・町営簡易水道配水池が完成し、今までの2倍給水できるようになる。
		・掛田中にプール完成。			・掛田駐在所にパトカーが配車される
		・掛田小で完全給食がはじまる。	1980	55年	・町民体育館が完成する。
1964	39年	・町章が制定される。	1983	58年	・日向前に住宅地をつくる工事がはじまる。
1965	40年	・ゴミの収集が掛田町内ではじまる	1985	60	・運動広場が完成する。
		・掛田・霊山・石戸・小国の4つの農協が-つに合併される。	1988	63	・霊山中学校新校舎完成。